



溝端 甚一郎 議員

市役所と郵便局との協力協定

共創のまちづくり

【問】市民に身近な場所
で、利便性の高い行政
サービスを提供するた
め、郵便局と連携をし
たまちづくりが出来な
いか。

【答】連携・協力を可能
な限り進めたい。

【問】道路損傷等の情報
提供は。

【答】最近、郵便局から
の情報提供があまり
ない。再度依頼をさせ
ていただき、道路損傷

等の速やかな修繕に対
応したい。

選挙の投票区

【問】集落が同じなのに
選挙の投票所が違う。
同じにならないか。

【答】行政上の町の区域
でなく、集落の区域で
の設定は調整が必要に
なる。地域からの強い
要望があれば執行に支
障がないよう慎重に検
討する。

【問】投票所の違う所は
何か所あるか。

【答】久々
野町一か
所、丹生
川町二か
所、上宝
町二か所
である。



指定管理者（老人いこ いの家）の見直し

【問】自主事業の実績は。

【答】健康体操・調理講
習会などを実施してい
る。昨年度は一二七人
の参加があった。

【問】シルバー人材セン
ターが老人いこいの家
の指定管理者、社会福
祉協議会が長寿会の事
務局を受託している。
事務局が指定管理者と
なることは出来ないの
か。

【答】指定管理者である
シルバー人材センター
は適正に業務を行って
おり、利用者からは苦
情はない。今後も適切
な施設管理を行うこと
が出来る事業者を選定
するよう検討する。

【問】事業の評価は。

【答】満足
度が高く、
仕様に
従い適正
に管理さ
れている。

老人いこいの家利用状況 (人)

	H20	H21	H22	H23
久々野	4,745	4,242	4,131	3,642
丹生川	1,377	1,501	1,224	1,308
国 府	4,992	4,652	4,136	3,707



今井 武男 議員

災害に強い まちづくり

飛驒牛販路について

【問】岐阜県の飛驒牛販
路拡大補助は。

【答】「飛驒牛首都圏進
出プロジェクト支援事
業」は、県内食肉事業者
が実施する販路拡大の
取り組みに対し支援す
るもので、1頭当たり
7万3千円の補助であ
る。しかし1頭販売が
条件なので取引の開拓
は難しい。

【問】高山市飛驒牛ブラ
ンド振興策について。

【答】飛驒牛フェア開催
事業として首都圏の著
名なレストランでの食
材PRイベントを計画
している。情報発信力
の高い首都圏において
、1頭販売にこだわらず
、新たな飛驒牛取扱い店
舗の開拓につなげてい
く。県と情報を共有し

ながら連携し販路拡大
を進めていく。

飛驒高山ウルトラマラ ソンについて

【問】高山市への経済効
果は。

【答】1回目はランナー
や同行者からのアン
ケート調査で8割がホ
テル、旅館で宿泊され
ている。直接消費額は
4千9百万円となり、
経済波及効果を算定す
ると約1億7百万円と
なる。2回目の経済波
及効果は2億円以上
になると推察している。

【問】高地トレニング
場を含めたコース変更
や海外からの参加は。

【答】コース設定には、
安全管理や経済効果も
求められている。今後
関係部署、関係機関と
協議しながら検討する。

災害に強いまちづくり について

【問】災害時応援協定の
締結状況は。

【答】自治体間等での応
援協定は県外自治体や
友好都市7市、さらに
国・県の防災機関など
とも締結している。大
規模災害が発生した際
の救済物資の提供や救
援活動、復興支援、被
災住民の受け入れ等で
協力体制を築いている。

【問】現在の協定状況は。

【答】自治体相互応援や
社会基盤施設等の応急
復旧、緊急運搬、応急
生活物資供給等19の区
分において70団体と締
結している。

【問】応援協定の拡大は。

【答】観光客の避難場所
の提供として市内ホテ
ル3社のほか、(社)岐
阜県自動車整備振興会、
県造園緑化協会、(財)
中部電気保安協会との
協定を締結した。

また海外からの参加者
も積極的に募りたい。